

# WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

## 重くのしかかる“子どもの教育費”

年収に占める割合37.7%  
早めの資金準備が重要

桜咲く春の季節を笑顔で迎えるため、今年も多くの受験生が頑張っています。それを親御さんが物心両面からサポートしています。

「子どもの教育」「住宅の購入」「老後生活」にかかる費用を人生三大資金ともいいます。この3つのイベントに多くの資金が必要なことからそう呼ばれていますが、同時に家族の夢や希望をかなえる大切な節目でもあります。そのなかで、「子どもの教育」は「住宅の購入」よりも時期が明確で、計画を立てやすい反面、「老後生活」よりも早く訪れるため、早期の準備が必要になってきます。親の方針、子どもの才能・進路選択などによって、その費用も大きく変わってきますが、「大きくなったとき、好きな道を選ばせてあげたい」ということであれば、具体的に目標を設定し、早く、確実に始めたいものです。

日本政策金融公庫が実施した「教育費負担の実態調査結果（国の教育ローン利用勤務者世帯）」（平成23年度）によると、子ども1人あたりの高校入学から大学卒業までの7年間に必要な費用は平均1,042万円となっています。在学中の費用（小学校以上に在学中の子ども全員にかかる費用の合計）が世帯の年収に占める割合は37.7%で、前年調査と比べ0.1ポイント増加し、過去最高の水準で推移しています。しかも、年収が低い世帯ほど負



担は重く、年収200万円以上400万円未満の世帯では57.5%にもなり、年収の半分以上を教育費が占めています。また、自宅外通学の子どもに対する親からの仕送り額の年間平均は102万円（月額8.5万円）となっています。

子どもの夢をかなえるためとはいえ、これだけの費用を捻出するのは、簡単なことではありません。ちょうど、「住宅の購入」の時期とも重なってきますから、できるだけ早く取りかかることで、無理なく、計画的に備えることができます。

2012年1月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1  
古川の通報は大場いい 通話いや  
TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855  
<http://www.foryousystem.co.jp>